

2016年2月22日(4/26改訂)

国際委員会

2016年アジアボート選手権へのクルーの派遣について

以下の要領で2016年アジアボート選手権に日本クルー（単独クルー）を派遣することとする。

【目的】

- 1) 2020年東京オリンピック開催に向け、アジアボート界に日本のプレゼンスを示すこと。
- 2) 社会人または大学のトップクルーが国際大会の雰囲気、大会運営、ルール等を経験することによって、国際大会に順応して、その実力を十分に出せるようにすること。
- 3) 今後のボート界を背負う若手選手にチャレンジ意欲を持ってもらうこと。

【派遣対象大会】

2016年アジアボート選手権（2016 Asian Rowing Championships）

期間：2016年9月5-8日 → 2016年9月9-13日(日程変更4/26)

開催場所：中国・浙江省嘉興(Jiashang, China)

主催：アジアボート連盟（Asian Rowing Federation - ARF）

【派遣対象種目】（2016年アジアボート選手権での実施種目）

- 1) 男子シングルスカル（M1X）または軽量級男子シングルスカル（LM1X）
- 2) 男子ダブルスカル（M2X）または軽量級男子ダブルスカル（LM2X）
- 3) 男子舵手なしペア（M2-）
- 4) 男子舵手なしクオドルプル（M4X）
- 5) 男子舵手なしフォア（M4-）または軽量級男子舵手なしフォア（LM4-）
- 6) 男子エイト（M8+）
- 7) 女子シングルスカル（W1X）または軽量級女子シングルスカル（LW1X）
- 8) 女子ダブルスカル（W2X）または軽量級女子ダブルスカル（LW2X）
- 9) *女子舵手なしペア（W2-）
- 10) 女子舵手なしクオドルプル（W4X）または軽量級女子舵手なしクオドルプル（LW4X）
- 11) *女子舵手なしフォア（W4-）

「*」は2016年よりの新種目

【派遣クルーの決定と派遣の条件】

- 1) 第38回全日本軽量級選手権大会において、上記派遣対象種目（オープン、軽量級を問わない）で優勝したクルーを派遣する。優勝クルーが派遣を辞退した場合は、2位のクルーが派遣の権利を得る。優勝クルーと2位のクルーが共に派遣を辞退した場合は、3位のクルーが派遣の権利を得る。優勝クルー、2位のクルーおよび3位のクルーのいずれもが派遣を辞退した場合は、4位のクルーが派遣の

権利を得る。1～4位のいずれのクルーも派遣を辞退した場合は、当該種目への派遣は行わない。

- 2) アジア選手権でオープン種目と軽量級種目の両方が実施される種目については、オープン種目と軽量級種目のいずれに出場するかは、派遣クルーが決定するものとする。
- 3) 派遣クルーのメンバー構成は、**第38回全日本軽量級選手権出漕時と異なってもよい（シングルスカル漕手も同様）。**
- 4) 派遣されるクルーは、日本ボート協会から派遣される団長と連携を密にし、その指示に従うこと。
- 5) クルーの派遣にかかる経費（渡航費、宿泊費、食費、借艇料、オール輸送費、ユニフォーム代、必要であればマネージャー・ドクター等の選任とその全帯同費用、その他）は、**全額、派遣クルーおよびその所属団体が負担**すること。
- 6) 派遣クルーが着用するユニフォームは、“**日本代表クルーのユニフォーム**”に準ずる（ARFの規則による）。ユニフォームの製作にあたっては、日本ボート協会が一括して取りまとめる。
- 7) 派遣クルーは各所属団体のオールを持参し使用するが、仕様は**FISAに登録している日本代表クルーのブレードカラー**とすること（ARFの規則による）。
- 8) 帰国後、派遣クルーごとにレポートを作成し、提出すること。

【日本ボート協会による支援】

- 1) 選手権参加に必要な情報を提供し、事務手続き（ユニフォーム製作発注、エントリー手続き、ビザ取得、航空券購入、宿舍手配等）を行う。
- 2) 選手権に派遣されるクルーのとりまとめに必要な役員1名（団長）を選任・派遣し、可能な限り、派遣クルーの支援を行う。
- 3) 選手権に参加する日本人国際審判員が、審判業務に支障のない範囲で派遣クルーへの支援を行う。

《参考》 2015年アジアボート選手権（中国・北京）における派遣クルー

出漕種目	派遣クルー
LM1×	トヨタ紡織
LM2×	今治造船
M2-	トヨタ紡織
M4×	龍谷大学
LM4-	東レ滋賀
M8+	一橋大学
LW2×	筑波大学

以上

問合せ先

公益社団法人 日本ボート協会

事務局 藤田

TEL:03-3481-2326 MAIL:kokusai@jara.or.jp